

第1回受付分に対する回答

	質問	回答
1	現在プラットフォームで提供している動的データはどのようなものかご教示ください。	現在（2024年8月9日時点）、プラットフォームで提供している動的データは以下の2つです。 <ul style="list-style-type: none">• 中心市街地の人流データ• イベントデータ 「浸水センサデータ」は2024年9月までに提供予定です。
2	実施テーマ2（動的データ連携による開発実証）において、実施テーマ1（浸水センサデータ活用による開発実証）で利用する「浸水センサデータ」を活用してもよいでしょうか。	「浸水センサデータ」は、実施テーマ2においても、「プラットフォームで提供するデータ」の1つとして活用可能です。

第2回受付分に対する回答

	質問	回答
1	実施テーマ1（浸水センサデータ活用による開発実証）について、現在設置中のセンサーの地点と設置地点の特徴をご教示ください。（例）道路の端、中央、建物内部、外部など。	<p>浸水センサーは、宮城野区福田町エリアに順次設置中です（令和6年9月までにセンサー30個を設置完了予定）。設置地点は、冠水実績があり、車道面と段差がない電信柱やカーブミラー等を予定しています。</p> <p>また、1箇所当たり2個程度（例：5cm・35cmの2段階で冠水観測する等）のセンサーを設置予定です。</p>
2	<p>実施テーマ1（浸水センサデータ活用による開発実証）について、浸水センサからのデータ形式をご教示ください。</p> <p>（「日付、時間、浸水したことが分かる0/1のような数値」「日付、時間、現状の水位もしくはそれに相当する数値」など）</p>	<p>浸水センサのデータ形式は、ウェブサイトに掲載している「浸水センサデータのAPIレスポンス情報」をご参照ください。</p> <p>(shinsui_API.pdf (data-sendai-platform.jp))</p>
3	実施テーマ1（浸水センサデータ活用による開発実証）について、浸水センサデータの登録の頻度をご教示ください。	<ul style="list-style-type: none"> • 観測データの送信タイミングは、以下の2通りです。 <ol style="list-style-type: none"> ①浸水判定されている期間 ②死活監視時 • また、それぞれの通信間隔は以下となります。 <ol style="list-style-type: none"> ①10分 ②おおむね1日1回（「浸水なし」データを送信）
4	実施テーマ1（浸水センサデータ活用による開発実証）について、浸水センサデータも事業者にてデータ連携基盤に接続する必要があるのでしょうか。	<p>浸水センサデータは、データ接続（登録）は行う必要はなく、データ連携基盤からのデータ取得（参照）のみ行っていただきます。</p>

第2回受付分に対する回答

	質問	回答
5	実施テーマ1（浸水センサデータ活用による開発実証）について、今年度の実証のなかで、設置された30箇所のセンサーをすべて使う必要があるのでしょうか。	今年度の実証のなかで、設置された30箇所のセンサーをすべて使う必要はありません。
6	実施テーマ1（浸水センサデータ活用による開発実証）について、開発する市民向けサービス・アプリ等は、今年度の実証のなかで市民公開まで行う必要があるのでしょうか。	今年度の実証のなかで市民公開まで行う必要はありません。
7	実証後、仙台市でサービス実装される可能性はあるのでしょうか。	募集要項3（3）に記載している広報支援の一環として、関係部局への情報提供等を行う予定であり、本市での実装につながる可能性はあります。
8	サービス実証するwebサイト等は、プロジェクト実施者が指定したドメインで良いのでしょうか。	事務局からドメインを指定することはありません。
9	浸水センサデータのAPIレスポンス情報について、lat、lon、installation_heightは実際のセンサーから得る情報（動的情報）でしょうか。	メタデータとして設定されます。

第2回受付分に対する回答

	質問	回答
10	浸水センサデータのAPIレスポンス情報について、 machine_statusで1：センサ異常の時、センサ異常に伴って その他パラメータには何か値が設定されていますでしょうか。	設定されない予定です。
11	センサーは実証中に増減・位置変更・交換しないかご教示 ください。	未定です。
12	APIの方式をご教示ください。	RESTful形式です。
13	APIが複数ある場合、呼び出しの順番や情報引継ぎをご教 示ください。	アクセストークンには有効期限がありますので、「データ参照 API」を呼び出す前に「アクセストークン取得API」を呼び出して、 アクセストークンを取得する必要があります。

第2回受付分に対する回答

	質問	回答
14	APIのリクエスト文のサンプルをご教示ください。	<p><アクセストークン取得></p> <ul style="list-style-type: none">■ リクエストURL https://{ドメイン}/oauth2/token■ メソッド POST■ リクエストヘッダ情報 Content-Type: application/x-www-form-urlencoded■ リクエストボディ情報 scope=default grant_type=client_credentials client_secret={提供された利用者秘密鍵} client_id={提供された利用者キー}■ レスポンスボディ情報 { "scope": "default", "token_type": "Bearer", "expires_in": {アクセストークンの有効期限(秒)}, "access_token": " {アクセストークン} " }

第2回受付分に対する回答

	質問	回答
14	APIのリクエスト文のサンプルをご教示ください。	<p><データ参照></p> <ul style="list-style-type: none">■ リクエストURL https://{ドメイン}/orion/v2.0/entities■ メソッド GET■ リクエストヘッダ情報 Content-Type: application/json, Accept: application/json, Authorization: Bearer {アクセストークン}, Fiware-Service: {Fiware-Service}, Fiware-ServicePath: {Fiware-Service-Path}■ クエリパラメータ情報（任意指定） id: 取得対象のエンティティID type: 取得対象のエンティティタイプ 他■ レスポンスボディ情報 [{ "type": "{エンティティタイプ}", "id": "{エンティティID}", "{属性名称}": { "value": {属性値}, "type": "{属性値のタイプ}", "metadata": {メタ情報} }, ... }]